

大江戸線延伸

概要版

－ 沿線まちづくりデザイン －



令和8(2026)年10月

練馬区

1 まちづくりデザインの概要

大江戸線の延伸により、交通利便性の向上が期待されるとともに、各新駅予定地周辺では、地域の物まえ、生活利便性の向上や、まちのさらなる発展を目指した、新たな拠点づくりが必要です。

そこで、沿線全体の将来像や各新駅予定地周辺の将来像、まちづくりの方針などをとりまとめた、「**延伸 - 沿線まちづくりデザイン -**」（以下、「まちづくりデザイン」）を策定しました。

「まちづくりデザイン」を通して、地域住民や民間事業者を含む関係者等と、**延伸後の将来像やそれ組・役割などを共有しながら、地域の活性化につながる新駅予定地周辺のまちづくり（拠点づくり）**をしていきます。

対象範囲（延伸地域：各新駅予定地から約1km）



新駅予定地は、東京都の公表資料※により練馬区が想定したものです。

※＜大江戸線延伸にかかる庁内プロジェクトチーム＞ 現在の検討状況について＜令和7（2025）年10月＞

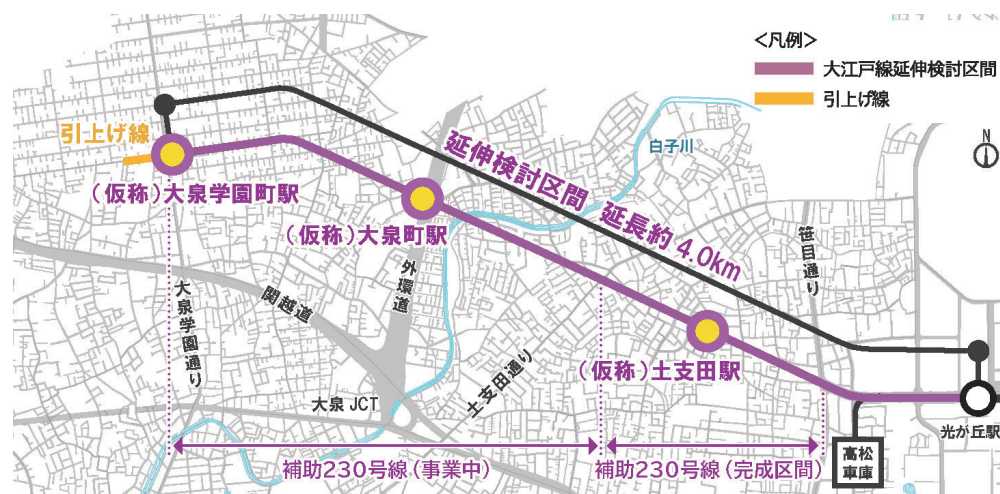
これまでのまち

- ✓ 土地区画整理
- ✓ 地区計画*（延



「まちづくりデザイン」は、地域

大江戸線延伸の概要・効果



延伸がもたらす効果

整備効果

波及効果

○練馬区の北西

経済波及

- 延伸工事に伴う雇用や資材が増加する。
- 働く人の所得が伸び、地域全体が広がる。

*土地区画整理事業：道路、公園等の公共施設を整備し、土地の区画を整え宅地の利用の増進を図る事業のこと。基本的な仕組みは、土地所有者からの土地の一部提供（減価償却）による。*地区計画：比較的小規模な地区を対象に、その区域の特性にふさわしい良好な街区を整備し、保全するために定める都市計画。区域の方針のほか、道路・公園等の配置、*ユニバーサルデザイン：あらかじめ、障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず、多様な人々が利用しやすいように都市や生活環境等をデザインする考え方。*鉄道空白地域：最寄りの鉄道駅まで1km以上離れている地域のこと。

特性を踏

「大江戸線

それぞれの取
を推進し



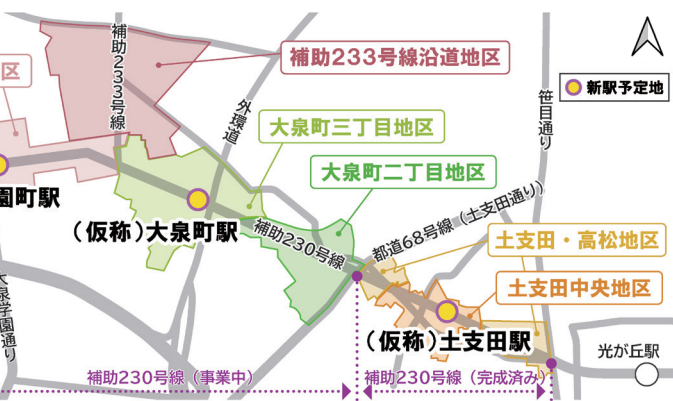
1. はじめに
 2. 沿線全体の将来像
 3. 各新駅予定地周辺の将来像
 4. まちづくりの実現に向けて
- ここからはじまる物語
～延伸後のまちをのぞいてみよう～
 - 参考資料

「大江戸線延伸-沿線まちづくりデザイン-」のイメージ

まちづくり

事業*

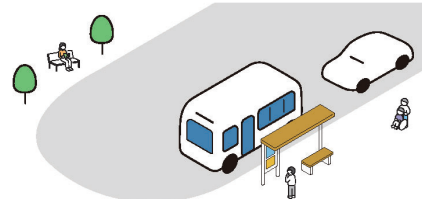
建替えのルール)の策定等



駅前空間に必要な整備内容

(例)

- ✓ 駅へのアクセス道路
- ✓ 使いやすい駅前広場・駅出入口
- ✓ 駐輪場などの公共施設
- ✓ にぎわいづくり
- ✓ 地下空間の活用
- ✓ ユニバーサルデザイン* 等



地域の皆様等の想いや考えをオープンハウスやアンケート等で伺いながらとりまとめた計画です。

※「補助○号線」は、東京都市計画道路幹線街路補助線街路第○号線の略称です。

鉄道空白地域の改善

部に残る「鉄道空白地域*」が大きく改善する。

所要時間の短縮

○都心との相互アクセスが向上し、区北西部と都心周辺部との移動時間が短縮する。

及効果

い、建設関連
・機械の需要

得が消費に回
に経済効果が

地域活性化

- 新駅周辺に商業施設の立地や宅地開発が進み、人口増加が期待される。
- これにより、地域ににぎわいが生まれ、商業・サービス業の活性化につながる。

地価上昇

- 延伸により交通利便性が向上し、まちづくりにより生活利便性が向上する。
- その結果、延伸地域の地価が上昇し、資産価値の向上が期待される。

環境・緊急時への対応

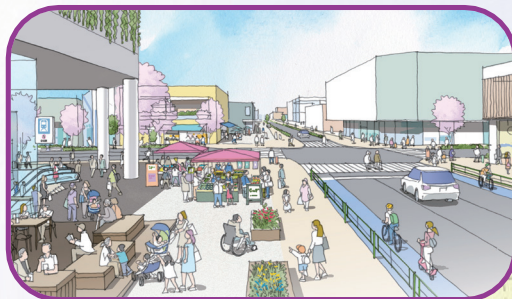
- 自動車利用からの転換による道路交通の混雑緩和やCO₂排出量の減少につながる。
- 別の交通手段が使えなくなった場合の代替ルート、災害時の緊急輸送(人・物)手段として機能する。

成歩)により、道路、公園等の公共施設を整備し、宅地も、公共施設にあわせて再配置(換地)する。(土地区画整理法(昭和29年法律第119号))
規模や、建築物等の用途、規模、形態意匠、緑化に関する規定等を定めることができる。(都市計画法(昭和43年法律第100号))

2 沿線全体の将来像・沿線まちづくりのテーマ

“豊かなみどりの中で、新たなまちを 持続的に発展させる”

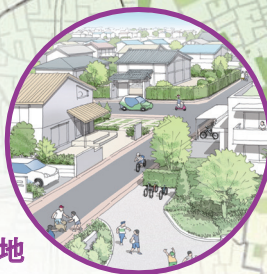
(仮称) 大泉学園町駅
予定地周辺



補助 230・233 号線沿い



一般住宅地



農地や公園などの豊かなみどりは、
大江戸線の延伸により、新駅を中心に、新たな
豊かなみどりに囲まれた環境の中で、人々の交流により地域

交通・基盤



- ☑ 新駅を中心に多様な交通モード*が利用できる環境整備を目指します。
- ☑ 安全・快適で歩きたくなる歩行空間の整備を目指します。



交流・にぎわい

- ☑ 新駅を中心に、新たな交流・にぎわいが生まれるまちを目指します。
- ☑ 商店街や公園、農地などの地域資源を活かし、訪れたくなるまちを目指します。
- ☑ 住民や民間事業者、行政により、にぎわいのあるまちを目指します。

*交通モード：鉄道、バス、タクシー、シェアサイクル、マイクロモビリティなど、人の移動を支える交通手段の種類のこと。

な交流・にぎわいが生まれ、 展するまち”



(仮称) 大泉町駅
予定地周辺



(仮称) 土支田駅
予定地周辺



農業住居複合地

この地域の大きな魅力です。
新たな交流やにぎわいが生まれます。
が活性化し、持続的に発展していくまちを目指します。

みどり・景観

- ✓ 桜並木など、地域の魅力であるみどりや景観の保全を目指します。
- ✓ 農地や公園などの地域資源を活かし、人々が集い親しめる場の創出を目指します。
- ✓ 地域の玄関口となる新駅周辺では、新たなみどりの空間づくりを目指します。

暮らし・安全安心

- ✓ 良好な住環境を維持しつつ、新駅周辺では生活利便性が高まり、誰もが快適に暮らせるまちを目指します。
- ✓ 医療・福祉・子育てに関するサービスや支援が充実し、誰もが安心して暮らせるまちを目指します。
- ✓ 水害対策などを進め、安全・安心なまちを目指します。

[将来像]

“地域の魅力に新たな交流力



桜並木や商店街などがこの地域ならではの大きな魅力です。

大江戸線延伸による新たな人の流れと地域の交流が加わり、まちに新たなにぎわいを創出します。

人と人、人と地域がつながり、世代を超えた交流が広がる「にぎわいのまち」を育んでいきます。

実現に向けた主な取組

🏠：練馬区の取組

👤：地域住民・団体等の取組

👛：民間事業者の取組

新駅予定地付近 における実現に向けた主な取組



多様な交通モード*がつながる駅前広場を整備する。



地下鉄上部の地下空間を活用した駐輪場の整備等を検討する。



駅と駅前施設等を接続し、円滑な乗換え動線为确保するため、駅出入口と駅前施設の一体的な整備を検討する。



利便性と集客力の向上を図るため、再開発事業*等により、商業・サービス施設等を備えた駅前を整備する。



多様な主体が連携し、地域の顔となる駅前のみどりの空間づくりを進め、植栽や花壇づくりなどを行う。

大泉学園通り・長久保通り沿い における実現に向けた主な取組



道路整備に合わせ、無電柱化を進める。

新駅アクセス道路付近 における実現に向けた主な取組



道路拡幅に合わせ、歩行者や自転車の通行空間を整備する。



沿道の土地利用について検討する。

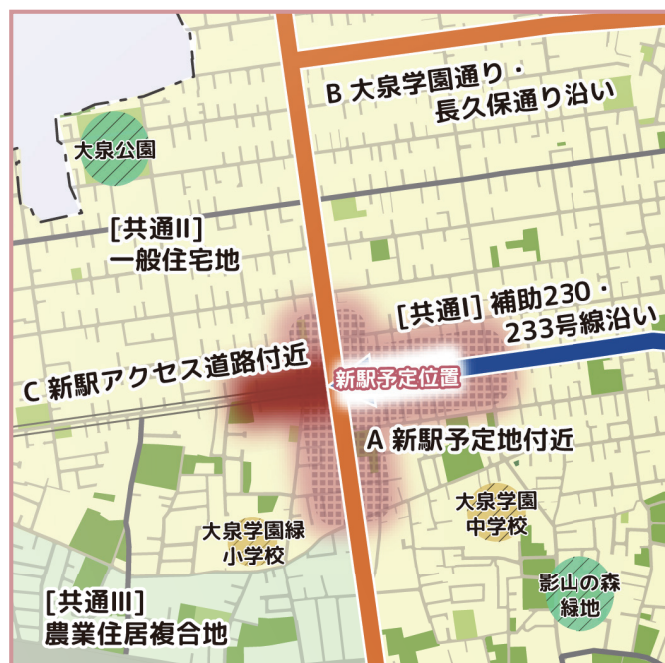
※各パースは練馬区のイメージであり、今後の検討や関係機関との協議により、内容が変更となる場合があります。

*交通モード：鉄道、バス、タクシー、シェアサイクル、マイクロモビリティなど、人の移動を支える交通手段の種類のこと。

*再開発事業（市街地再開発事業）：市街地の土地の合理的で健全な利用と都市機能の更新を図るため、公共施設の整備、建築物および建築敷地の整備などを行う事業のこと（昭和44年法律第38号）

“加わる、にぎわいのまち”

エリア分け図



A. 新駅予定地付近

B. 大泉学園通り・長久保通り沿い

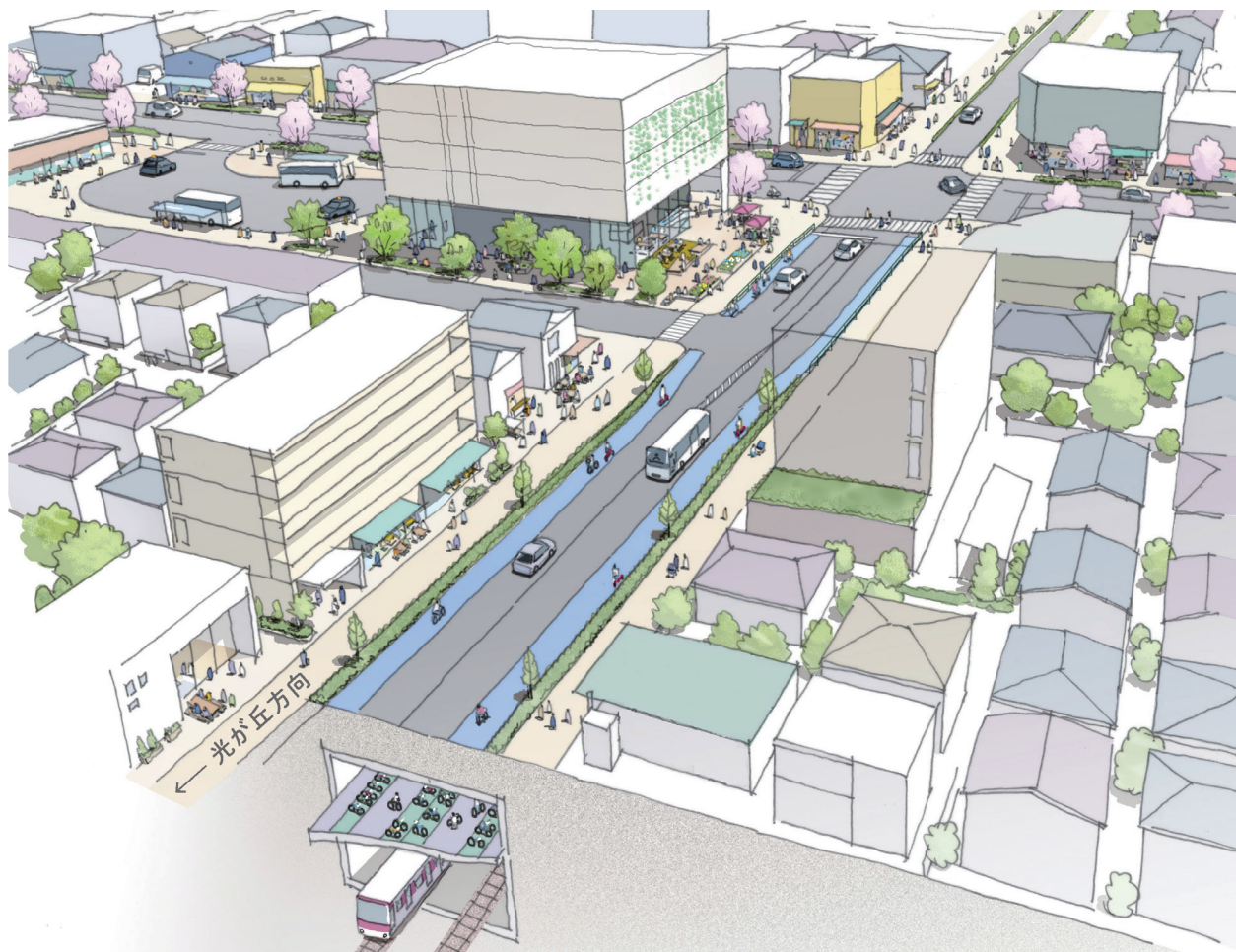
C. 新駅アクセス道路付近

共通 I. 補助 230・233 号線沿い

共通 II. 一般住宅地

共通 III. 農業住居複合地

新駅予定地は、東京都の公表資料※により練馬区が想定したものです。※＜大江戸線延伸にかかる庁内プロジェクトチーム＞ 現在の検討状況について＜令和7（2025）年10月＞



的な整備
駅前施設
を推進

と。（都市再開発

4（仮称）大泉町駅予定地周辺

〔将来像〕 “みどりの中で様々な人が集い



大泉町もみじやま公園をはじめとする豊かなみどりや、高低差のある地形がこの地域の特徴です。誰もが安心して集い、憩える場を創出し、人や場所をつなぐ歩きたくなるまちづくりを目指します。自然を身近に感じながら、地区内外の人々が訪れ、多様な活動や新たな交流が生まれる「活動のまち」を育みます。

実現に向けた主な取組

🏠：練馬区の取組 👤：地域住民・団体等の取組 📁：民間事業者の取組

新駅予定地付近 における実現に向けた主な取組

- 🏠 多様な交通モード*がにつながる駅前広場を整備する。
- 📁 バス路線の再編をバス事業者と検討する。
- 🏠 駅出入口、駅前広場、公園などがつながる、高低差に配慮した移動空間を整備する。
- 🏠 多様なイベントなどが開催できる、オープンスペースの確保を検討する。
- 👤📁 農地やみどりなどの地域資源を活かしたイベント（マルシェ*・キッチンカー等）の企画・運営に取り組む。

大泉町もみじやま公園付近 における実現に向けた主な取組

- 🏠👤📁 地域団体等と連携し、公園の利用方法や活用方策を検討する。

外環道沿い における実現に向けた主な取組

- 🏠 自転車・歩行者の南北ネットワークの形成に向け、外環側道の整備を検討する。

白子川沿い における実現に向けた主な取組

- 🏠👤📁 川沿いの清掃活動や環境保全活動に取り組む。

※各パースは練馬区のイメージであり、今後の検討や関係機関との協議により、内容が変更となる場合があります。

*交通モード：鉄道、バス、タクシー、シェアサイクル、マイクロモビリティなど、人の移動を支える交通手段の種類のこと。

*マルシェ：フランス語で「市場」を意味し、地域の農業者や事業者等が農産物や加工品などを直接販売する市場形式の催しのこと。生産者と消費者が交流できるほか、地

、新たな活動が生まれるまち”

エリア分け図



A. 新駅予定地付近

B. 大泉町もみじやま公園付近

C. 外環道沿い

D. 白子川沿い

共通 I. 補助 230・233 号線沿い

共通 II. 一般住宅地

共通 III. 農業住居複合地

新駅予定地は、東京都の公表資料※により練馬区が想定したものです。※＜大江戸線延伸にかかる庁内プロジェクトチーム＞ 現在の検討状況について＜令和7（2025）年10月＞



運営に取

域の魅力発信の場として開催される。

5 (仮称) 土支田駅予定地周辺

[将来像]

“農と暮らしが調和する”



土支田ならではの豊かな農地が広がり、身近に農を感じられます。

農業体験や新たな交流の機会を通じて、世代や地域を超えたふれあいを育みます。

農と暮らしが調和し、人と人とのつながりが広がる「つながりのまち」を創出します。

実現に向けた主な取組

🏠：練馬区の取組

👤：地域住民・団体等の取組

👛：民間事業者の取組

新駅予定地付近 における実現に向けた主な取組



多様な交通モード*がつながる駅前広場を整備する。



地下鉄上部の地下空間を活用した駐輪場の整備等を検討する。



円滑な乗換え動線为确保するため、駅出入口と駐輪場出入口の一体的な整備を検討する。



地区計画*に基づき、日常生活を支える商業・業務・サービス施設の立地を誘導する。

土支田通り沿い における実現に向けた主な取組



警察等と協力し安全対策を検討する。



地域資源を活かした魅力づくりや情報の発信に取り組む。

駅近傍の農とみどり における実現に向けた主な取組



区民農園*や体験農園*、直売所等の利用を通じて、都市農業への理解を深める。



植栽の手入れや清掃活動など、みどりやまち並みの保全活動に取り組む。

※各パースは練馬区のイメージであり、今後の検討や関係機関との協議により、内容が変更となる場合があります。

*交通モード：鉄道、バス、タクシー、シェアサイクル、マイクロモビリティなど、人の移動を支える交通手段の種類のこと。

*地区計画：比較的小規模な地区を対象に、その区域の特性にふさわしい良好な街区を整備し、保全するために定める都市計画。区域の方針のほか、道路・公園等の配置、等の用途、規模、形態意匠、緑化に関する規定等を定めることができる。（都市計画法（昭和43年法律第100号））

*区民農園：区が所有者からお借りした農地を整備して、区民に有料で貸し出している農園のこと。区民農園には共用農具庫があり、クワ、スコップ、バケツ、じょうろ等

きる。（練馬区立区民農園条例（平成13年3月練馬区条例第20号））

*体験農園：農家の指導を受けながら、野菜の種まきや苗の植付けから収穫までを体験できる農園。区民農園とは異なり、農家が運営・管理しており、栽培方法を学びながらさまざまな野菜づくりを楽しむことができる。

る、つながりのまち”

エリア分け図



A. 新駅予定地付近

B. 土支田通り沿い

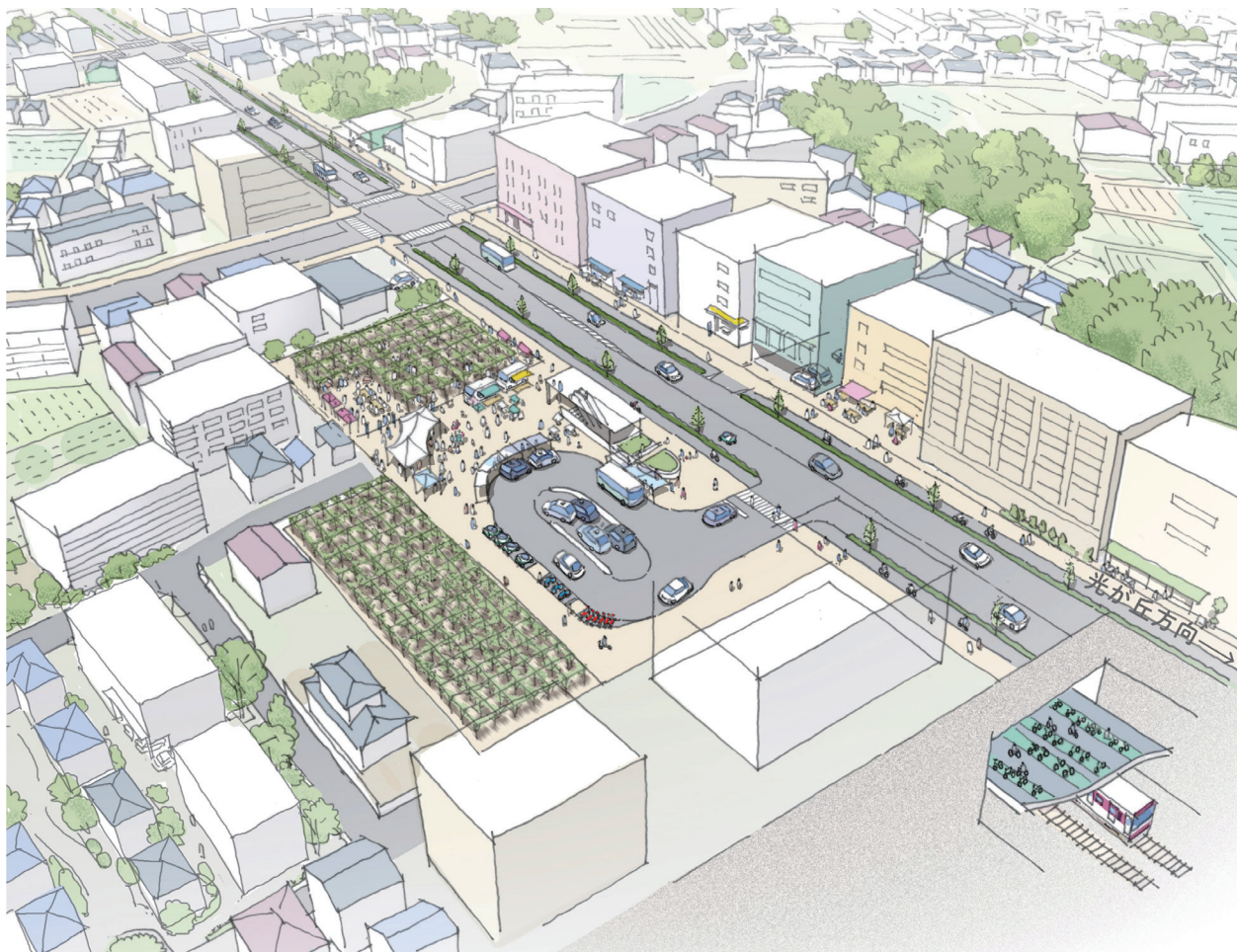
C. 駅近傍の農とみどり

共通 I. 補助 230・233 号線沿い

共通 II. 一般住宅地

共通 III. 農業住居複合地

新駅予定地は、東京都の公表資料※により練馬区が想定したものです。※＜大江戸線延伸にかかる庁内プロジェクトチーム＞ 現在の検討状況について＜令和7（2025）年10月＞



規模や、建築物
の農具を利用で
ら年間を通じて

6 延伸地域共通エリア

共通Ⅰ. 補助 230・233 号線沿い

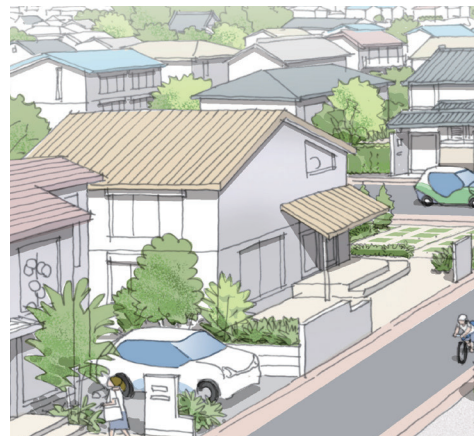


実現に向けた主な取組

🏠：練馬区の取組 🧑🏠：地域住民・団体等の取組 📁：民間事業者の取組

- 🏠🧑🏠 警察等と協力し**安全対策を検討**する。
- 🏠 地区計画*に基づき、日常生活を支える**商業・業務・サービス施設の立地**を誘導する。
- 🏠🧑🏠📁 みどりの軸*の形成に向け、生垣など、道路沿いの**緑化**に取り組む。

共通Ⅱ. 一般住宅地



実現に向けた主な取組

🏠：練馬区の取組 🧑🏠：地域住民等の取組

- 🏠🧑🏠📁 地区計画*に基づき、**地域イベントなど、多様な利用を進める。**
- 🏠🧑🏠 公園や公共施設への**機能の強化を進める。**

7 まちづくりの実現に向けて

まちづくりの実現に向けて

今後は、沿線まちづくりの実現に向けて、「まちづくりデザイン」で示した将来像を、**地域住民や地域団体、民間事業者、関係権利者、行政などで共有し、それぞれの役割のもと、連携・協力しながら具体的な取組を進めていきます。**

延伸に合わせて、生活利便施設の立地や商業・公共施設の集積、地域内外の人々の交流や活動が生まれることなどにより、新たなにぎわいが創出され、地域の活性化へとつながっていくことが期待されます。

地域住民・団体

- ✓ 地域活動への参加・協力
- ✓ まちの魅力の発信
- ✓ まちづくり計画や事業への理解・協力
- ✓ まちづくりルールの検討・立案・遵守

行政

- ✓ まちづくり計画や事業の立案・調整
- ✓ 推進体制の充実や関係機関との連携
- ✓ 取組の情報発信・支援方策の充実



民間事業者

- ✓ 地域活動への参加・協力
- ✓ 地域課題への取組・貢献・協力
- ✓ 専門的な知識や技術の提供
- ✓ まちづくりへの理解・協力

*地区計画：比較的小規模な地区を対象に、その区域の特性にふさわしい良好な街区を整備し、保全するために定める都市計画。区域の方針のほか、道路・公園等の配置、
 *みどりの軸：道路や河川沿いの連続したみどりを活用・創出し、公園、樹林地、農地などのみどりの拠点をつなぐ、みどりのネットワークの骨格となるもの。防災や環境
 *地区施設道路：地区計画において、地区内の良好な住環境の形成や防災性・交通安全性の向上などを目的に、位置や幅員等を定める生活道路などの身近な道路。
 *体験農園：農家の指導を受けながら、野菜の種まきや苗の植付けから収穫までを体験できる農園。区民農園とは異なり、農家が運営・管理しており、栽培方法を学びながら
 *ベジかる・果樹あるファーム：ベジかるファームとは、野菜の収穫体験ができる農園のこと。果樹あるファームとは、「摘み取り園」や「直売所」等のカジュアルに農と触れ
 *都市計画決定：用途地域や道路、公園、鉄道、地区計画などの都市計画の内容を、都道府県や市区町村が正式に決定すること。決定されると、その都市計画は法的な効力
 *再開発事業（市街地再開発事業）：市街地の土地の合理的で健全な利用と都市機能の更新を図るため、公共施設の整備、建築物および建築敷地の整備などを行う事業のこと

共通Ⅲ．農業住居複合地



実現に向けた主な取組

民・団体等の取組 🏠：民間事業者の取組

🏠：練馬区の取組 🧑：地域住民・団体等の取組 🏠：民間事業者の取組

地区施設道路*の整備を進める。
多くの人々が交流できる場の活

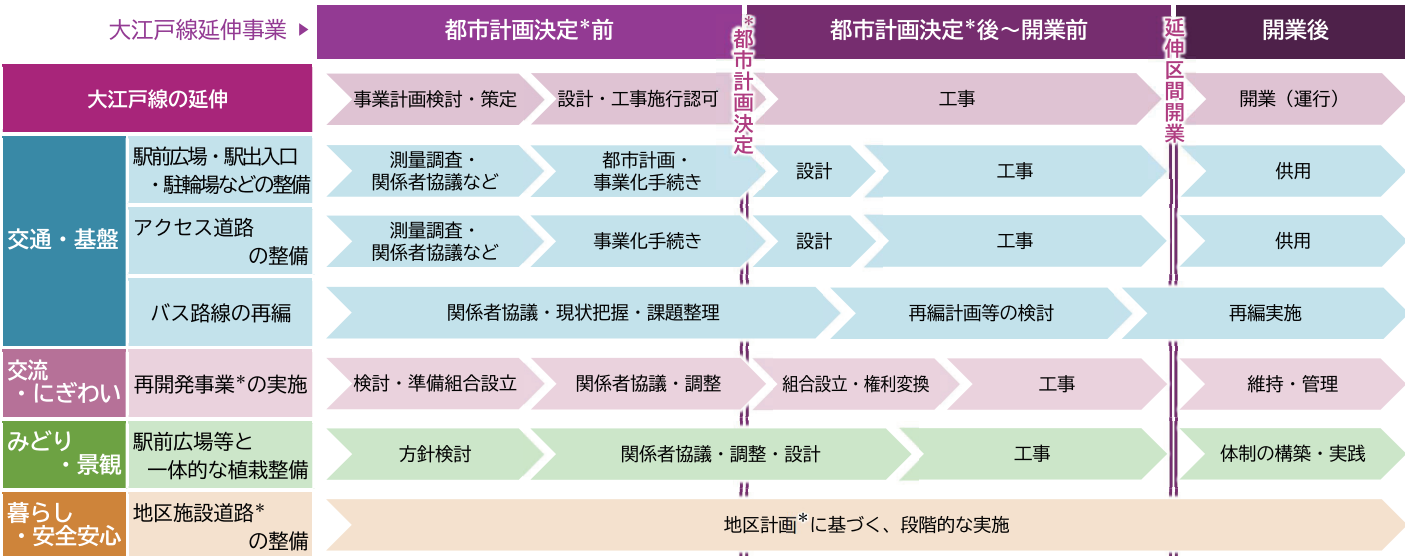
災備蓄倉庫の設置など、防災

- 🏠 体験農園*やベジかる・果樹あるファーム*事業など様々な施策を通じて区民の都市農業への理解醸成を図る。
- 🏠 地域団体等と連携し、樹林地や貴重な動植物等の保全を進める。
- 🧑 多様な動植物を育む樹林地の保全活動に取り組む。

※各パースは練馬区のイメージであり、今後の検討や関係機関との協議により、内容が変更となる場合があります。

まちづくりのロードマップ

沿線まちづくりは、大江戸線延伸の開業を見据え、各取組については、検討の進捗や関係者との合意形成の状況に応じて、必要な手続きや事業用地の確保等を進めるなど、順次具体化していきます。



※主な取組を抜粋

規模や、建築物等の用途、規模、形態意匠、緑化に関する規定等を定めることができる。（都市計画法（昭和43年法律第100号））
保全、景観形成などの機能を有する。（練馬区みどりの総合計画（令和6（2024）年3月））

ら年間を通じてさまざまな野菜づくりを楽しむことができる。
れ合える場所のこと。
を持つようになる。（都市計画法（昭和43年法律第100号））
と。（都市再開発法（昭和44年法律第38号））

8 まちづくりの取組が延伸事業に与える効果

「まちづくりデザイン」で示した様々な取組は、まちづくりへの効果に加えて、大江戸線延伸事業へ

まちづくりの取組

- ✓ 商業・業務・サービス施設を備えた駅前施設の整備
- ✓ 駅前施設と駅出入口の一体整備を検討
- ✓ バス路線の再編を検討

- ✓ 駅出入口と駐輪場出入口の一体的な整備を検討
- ✓ 地下鉄上部の地下空間を利用した駐輪場の整備を検討
- ✓ 道路整備・拡幅による安全で快適な歩行空間の確保

まちづくりの効果

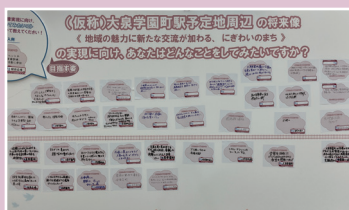
- ✓ 利便性やまちの魅力向上により、
- ✓ **生活利便性の向上と、駅前施設**
- ✓ 多様な交通モード*がつながり、

- ✓ 駅の近くに駐輪場を設けること
- ✓ 歩行者や自転車**が駅へ安全にアクセス**

9 策定経緯

「まちづくりデザイン」は、各回のオープンハウスで検討内容に応じたテーマを設定し、皆様の想いを検討に反映するなど、検討段階から地域の皆様とともに進めてきました。

また、延伸地域にお住まいの方々や、まちの将来を担う子ども達、経済・産業団体の事業者等を対象に様々な視点からのご意見を伺いながら、「まちづくりデザイン」を策定しました。



*交通モード：鉄道、バス、タクシー、シェアサイクル、マイクロモビリティなど、人の移動を支える交通手段の種類のこと。

の効果が期待されます。

まちづくりの効果

新たな交流・にぎわいが生まれます。
利用促進が見込まれます。
便利で利用しやすい駅前になります。

で、乗換えの利便性が高まります。
アクセスできるようになります。

延伸事業への効果

旅客需要の創出



駅前の利便性や、まちの魅力が高まることで、
鉄道利用者の増加が期待されます。

事業コストの低減

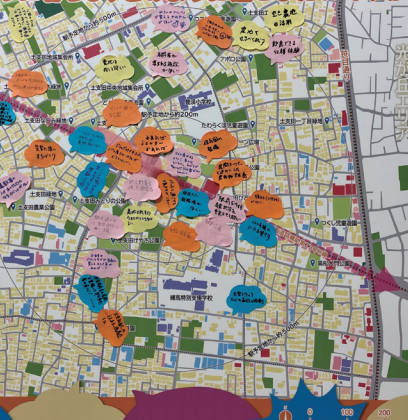


まちづくりと合わせて鉄道施設を一体的に整備することで、
延伸事業の整備コストの縮減が期待されます。

いや考えを伺い、その内容を次の
にしたアンケート調査を通じて、



《仮称）土支田町駅予定地周辺で
うに暮らし、どのように過ごしたいですか



オープンハウス



アンケート



庁内検討等



アンケートの実施

▷令和8（2026）年2月



子どもアンケート の実施

▷令和8（2026）年4～5月



経済・産業団体 アンケートの実施

▷令和8（2026）年7月



庁内意見聴取

▷令和8（2026）年7～8月



区議会・都市計画 審議会 報告

▷令和8（2026）年8月



第1回 オープンハウスの実施 （3会場）

▷令和8（2026）年5月



第2回 オープンハウスの実施 （3会場）

▷令和8（2026）年6月



第3回 オープンハウスの実施 （3会場）

▷令和8（2026）年8月



第4回 オープンハウスの実施 （4会場）

▷令和8（2026）年9月



デザイン策定



令和8(2026)年10月発行

編集・発行 練馬区 都市整備部 大江戸線延伸推進課

練馬区豊玉北六丁目12番1号

電話 03(5984)1584

本編のデータは右の二次元コードからご覧になれます。

